

神経細胞生物学セミナー

ヒト型疾患モデルマウス及び iPS 細胞関連技術を用いた 精神疾患の分子病態解析

演者 中澤 敬信 准教授

大阪大学大学院歯学研究科薬理学教室

日時 2019年 9月 13日 (金) 16:00~17:00

場所 東京大学医学部教育研究棟13F 第5セミナー室

ご案内

精神疾患の分子病態は不明な点が多く残されている。我々は、ゲノム研究を起点として、患者のiPS細胞/分化神経細胞を作製するとともに、患者の遺伝子変異を導入したヒト型疾患モデルマウスを併せて作製し、一貫した分子病態研究を実施している。近年、患者の両親にはなく、患者に生じる*de novo*変異が、自閉スペクトラム症 (ASD) の原因として注目されている。我々を含む多くの研究室が*de novo*変異を同定したPOGZは、*de novo*変異の数が最も多い遺伝子の1つであり、ASDとの関連性が強く示唆されるが、神経系における機能はほとんど未知である。我々は、*de novo*変異によるPOGZの機能低下が、神経発達異常ひいてはASD発症に繋がることを示唆するデータを得ている。ASDに関連する個々の*de novo*変異に注目した研究の例は少なく、本研究の成果はASDの分子病態解明に貢献するものと期待される。

多数の皆様のご来聴をお待ちしております。

連絡先： 大学院医学系研究科・医学部 神経細胞生物学分野 岡部繁男
Phone： 03-5841-1928 (内線21928)